

SIT[®]

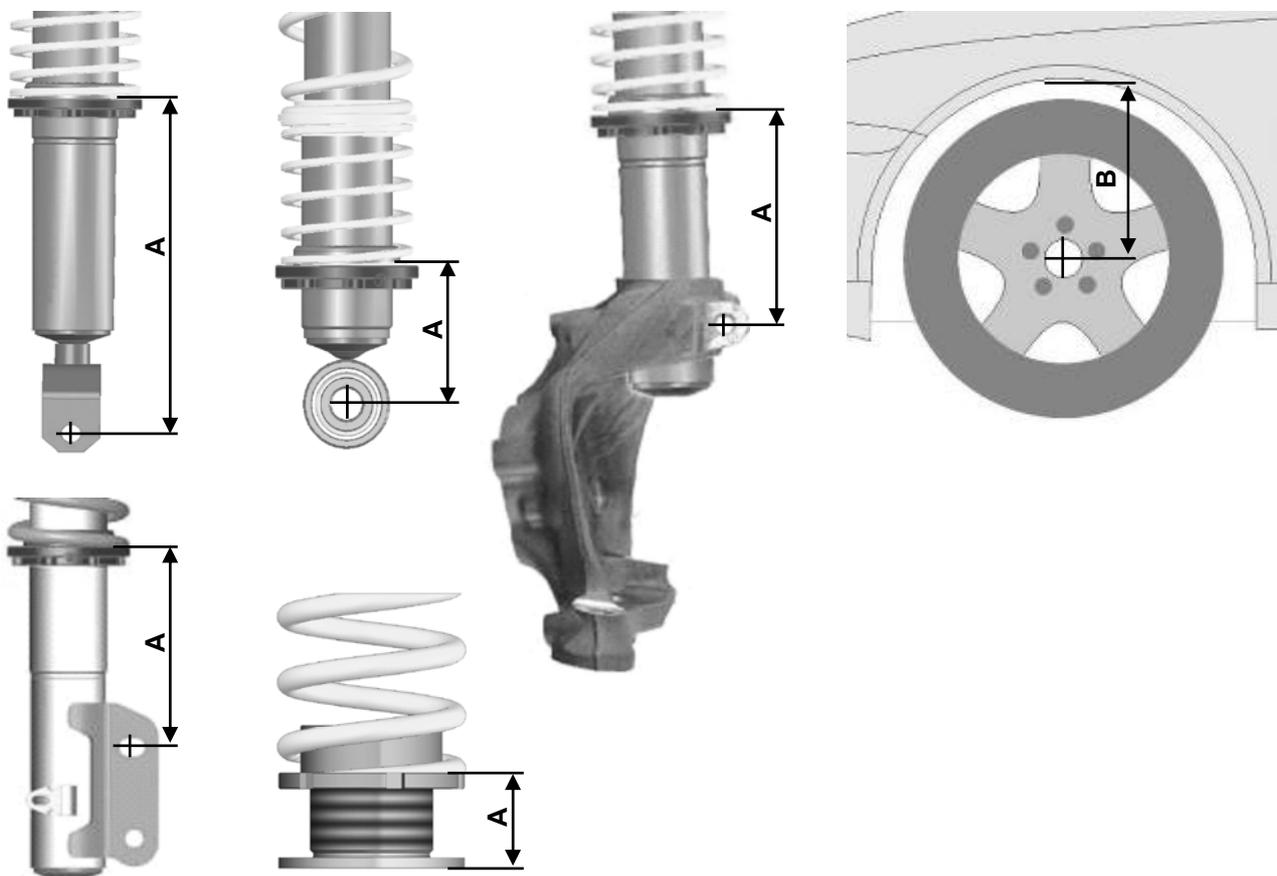
SUSPENSIONS



INSTALLATION GUIDE

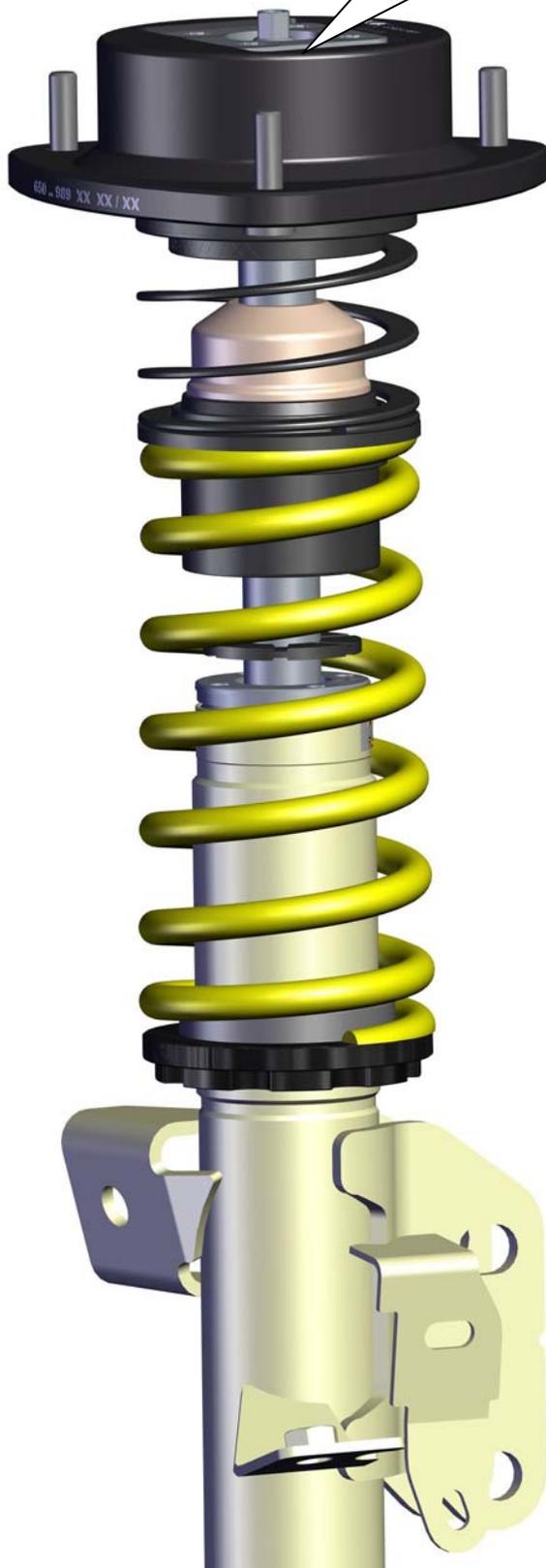
made by  KW

テクニカルデータ	Coilover part number 182 58 804 / 18202 58 804			
Vehicle model	Toyota GT86 GR86 type ZN Subaru BRZ type ZC Scion FR-S		max. permissible front axle load: - 876 kg	
	front axle		rear axle	
Spring signature	3-60-80 / 60-170*		10-60-80 / 50-200*	
Coilover strut / Shock absorber signature	583 1002		583 1102	
イラストの「A」寸法を確認して下さい。	min:	max:	min:	max:
	80 mm / 3,1 inch	110 mm / 4,3 inch	105 mm / 4,1 inch	130 mm / 5,1 inch
イラストの「B」寸法を確認して下さい。	min:		min:	
	320 mm / 12,6 inch		320 mm / 12,6 inch	



Front axle

トップマウント付属。
Supplied strut.



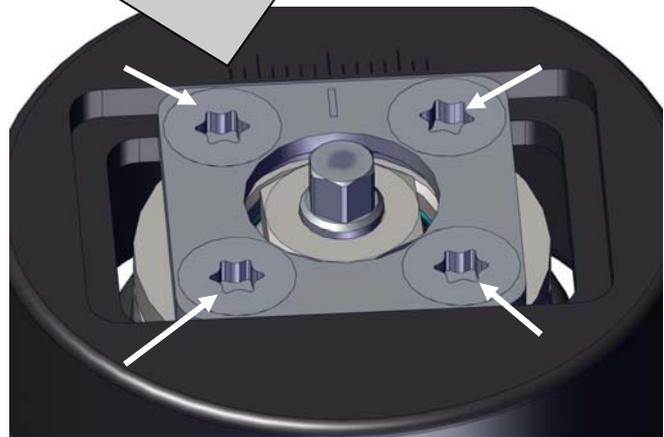
自動車メーカーの推奨に従って取り付ける必要があります。

締め付けトルク等ご確認下さい。

The strut unit has to be installed according to manufacturers recommended settings regarding tightening torque and fixing specifications.

締め付けトルク max. 22 Nm.

Tightening torque max. 22 Nm (17 ft-lb).



注意 キャンバー調整 :

トップマウント側の調整

キャンバー調整が必要な場合ホイールアライメント中に行います。

ストラット下部の固定ポイント(長穴)で微調整する事も可能です。

Note camber adjustment: Adjust the uniball supporting bearing to the middle adjustment (position like original supporting bearing). If the camber needs to be adjusted during the wheel alignment this needs to be done at the lower strut fixing point (slotted hole). Later fine adjustments can be done at the uniball supporting bearing.

サスペンションの取り付けが完了したら、タイヤとフロントサスペンションのクリアランスをチェックして下さい。

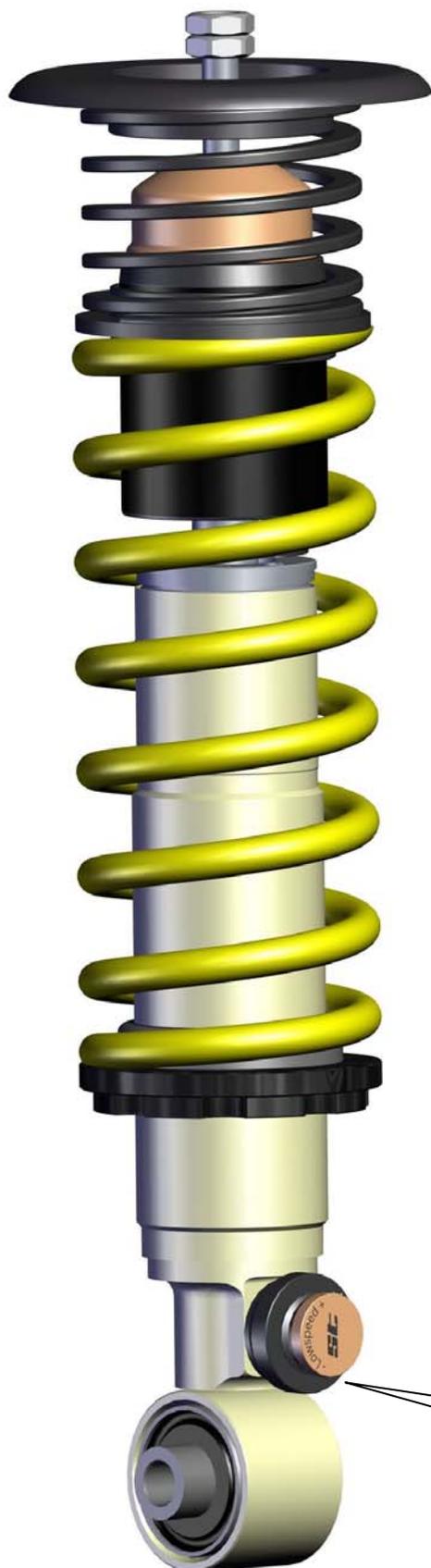
最小クリアランスは5mmです。必要に応じて市販のホイールスペーサーを使用して下さい。

After you have completed installation of the suspension, check the clearance of the tire to the front suspension strut. The minimum clearance at the narrowest point is 5 mm and must, where necessary, be provided using commercially available, Technical Inspectorate approved spacers.

Rear axle

純正トップマウントを取り付け、付属のナットで固定します。ピストンロッドナットの締め付けトルクは 20 Nm (15 ft-lb) です。自動車メーカーの推奨に従って取り付けする必要があります。締め付けトルク等ご確認下さい。

Install the factory supporting bearing and fix it with the supplied nuts. Tightening torque for the piston rod nut is 20 Nm (15 ft-lb). The strut unit has to be installed according to manufacturers recommended settings regarding tightening torque and fixing specifications.



パンプ調整付きダンパーの場合、写真のように調整ダイヤルをホイール側に向けて取り付けます。

At dampers with compression adjustment, mount the adjustment wheel facing to the outside of the vehicle as shown on the picture.



SET UP MANUAL

made by  KW



Set Up Manual ST XTA Plus3

ST XTA Plus3は、独立したバンプとリバウンド調整機能を備えています。

リバウンド減衰力調整：

主にピストンロッド(ストラットの上部)の六角アジャスターに付属のST調整ダイヤルを使用し
て調整を行います。

STEP 1：ピストンロッドトップの六角アジャスターにST調整ダイヤルを差し込みます。

STEP 2：ダイヤルを右（時計回り）に止まるまで回します。止まった位置がフルハードです。

有効な調整範囲は 0 ～ 16 クリック / 0 ～ 2,75ターンです。

注意！

フルハードまたはフルソフトに設定しないでください。（フルハード=0 フルソフト=16）

ショックアブソーバーの調整機構は、調整範囲の終わりに達すると回転が止まります。バルブの
損傷を避けるためにそれ以上力を加えないで下さい。

リバウンド調整の原則：

一般的に、リバウンド減衰力調整をソフトにすると低速での乗り心地は快適になりますが、

特にフロント軸では、高速での安定性が低下します。

リバウンド調整をハードにすると、安定性が向上しますが、車両のグリップが低下する可能性が
あります

(つまり、車両は路面の凹凸をスキップし、追従性が低下します)。

。



バンプ減衰力調整:

バンプ減衰力)調整は、ダンパーの下部で行われます。

調整は、バルブを閉じた状態 (フルハード) から行います。調整ダイヤルを (+) に回して止まったところがフルハードです。

ロースピード 0 ~ 24 クリック

ハイスピード 0 ~ 24 クリック

ロースピード調整の影響

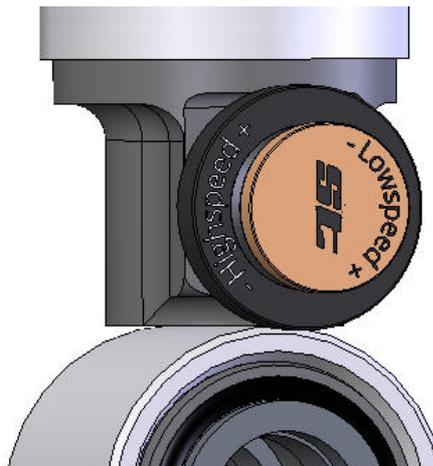
バンプ調整は、ハンドリングと運転挙動に大きな影響を与えます。一般的な特性は次の通りです。

フロントをよりハードにすると、車はより正確でアグレッシブになります。一方、ソフトにすると、よりマイルドなステアリング動作が得られます。リアをよりハードにすると、高速の方向転換時に車がより安定します。

オーバーステア傾向が強すぎる場合に役立ちます。一方ソフトにすると、アンダーステア傾向だった場合、ハンドリングが改善される可能性があります。

ただし、ハードにしすぎると、不快なフィーリングになったり、グリップが低下したりする可能性があります。STコンプレッションバルブのハイスピードセクションのディグレッシブな特性により、高い縁石や大きなバンプでの乗り心地にはほとんど影響しません。

ショックアブソーバーの調整機構に負荷を掛けないでください。



ダンパーを基本設定にリセットする場合、下記表の値をご確認下さい。

推奨セットアップ

Front axle	Rebound:	9	Clicks open
-------------------	----------	---	-------------

Rear axle	Rebound:	9	Clicks open
------------------	----------	---	-------------

Front axle	Bump low:	10	Clicks open	Bump high:	16	Clicks open
-------------------	-----------	----	-------------	------------	----	-------------

Rear axle	Bump low:	9	Clicks open	Bump high:	15	Clicks open
------------------	-----------	---	-------------	------------	----	-------------

例：リバウンド調整

この例では、推奨値のリバウンドは9クリックオープンとなります。
まずリバウンドを時計回りにハード(+)の方向に回す必要があります。その後、調整ダイヤルを9回
クリックまたは1.5ターンまで、反時計回りにソフト(-)方向に回します。
調整ダイヤルが 3 となる場合、次の表で説明されています。

